

第二十三回 帝國議會 貴族院議事速記録第九號

明治四十年二月二十六日(火曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第九號 明治四十年二月二十六日

午前十時開議

第一 富田鐵之助君請暇ノ件

第二 請願委員長報告

第三 明治四十年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)審査期限ヲ定ムルノ件

第四 明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)審査期限ヲ定ムルノ件

第五 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第六 (追第二號)審査期限ヲ定ムルノ件

第七 煙草專賣法中改正法律案(政府提出案)

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第九 保稅倉庫法中改正法律案(政府提出案)

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十一 癩豫防ニ關スル法律案(政府提出案)

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十三 輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案(政府提出案)

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十五 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出案)

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十七 韓國森林特別會計法案(政府提出案)

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十九 樺太地方裁判所及同管内二區裁判所

設置ニ關スル法律案(政府提出案)

樺太廳特別會計法案(政府提出案)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十一 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第二十三 戶籍法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第二十五 市街宅地地價修正ニ關スル請願 會 議

第二十六 國有林拂下ノ請願 會 議

第二十七 山林稅ニ關スル請願 會 議

第二十八 口羽郵便局ニ電線架設ノ請願 會 議

第二十九 大阪築港設備ニ關スル請願 會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔宮田書記官朗讀〕

去ル九日本院ニ於テ議決シタル政府提出韓國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律案ハ即日裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ議決シタル政府提出貨幣法中改正法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

去ル十八日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

北海道地方費法中改正法律案

千住製絨所据置運轉資本増加ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ議決シタル政府提出刑法改正案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

去ル二十一日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

煙草專賣法中改正法律案

保稅倉庫法中改正法律案

癩豫防ニ關スル法律案

輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案

鐵道敷設法中改正法律案

同日政府ヨリ左ノ決算及検査報告書ヲ受領セリ

明治三十七年度歳入歳出總決算

明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算

明治三十七年度歳入歳出決算検査報告

同日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

事業公債條例中改正法律案

官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案

關東都督府特別會計法案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

去ル二十二日樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵本莊 壽 巨君 副委員長 男爵岡内 重俊君

去ル二十三日樺太廳特別會計法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 谷 森 眞男君 副委員長 馬屋原 二郎君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治四十年年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

明治四十年年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

韓國森林特別會計法案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

戶籍法中改正法律案

同日衆議院ヨリ政府提出貨幣法中改正法律案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セリ旨ノ通牒ヲ受領セリ

昨二十五日東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵竹内 惟忠君 副委員長 子爵野宮 定毅君

同日決算委員分科會ニ於テ當選シタル各主査ノ氏名左ノ如シ

第一分科主査 谷 森 眞男君 第二分科主査 男爵南岩倉具威君
第三分科主査 男爵野田 豁通君 第四分科主査 子爵加納 久宜君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○男爵有地品之允君 是ヨリ豫算ノ第四分科會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 有地男爵ノ御要求通りニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無ケレバ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一、富田鐵之助君請暇ノ件、是ハ病氣ニ付キ今日ヨリ三週間ノ請暇デアリマス、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナケレバ許可イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、請願委員長報告

〔三宅秀君演壇ニ登ル〕

○三宅秀君 是ヨリ請願委員會ノ報告ヲ致シマス、去月二十二日ニ正副委員長ノ選舉ヲ致シマシテ、同日請願委員會ノ日ヲ定メマシテ、水曜日ニ開キマスルコトニ致シマシタ、其翌日ガ即チ水曜日デゴザリマシタガ、同日ハ議案ガゴザリマセヌカラ會ヲ開キマセヌ、其次ノ水曜日ハ恰モ大祭日ニ當リマシテゴザリマスカラ休會イタシマシテゴザリマス、ソレ故ニ本月ニ入りマシテ初メテ第二回ノ請願委員會ヲ開キマシテゴザリマス、今日マデ開キマシタ請願委員會ハ都合四度デゴザリマス、分科ノ主査會ハ毎週二回ヅ、開キマスルコトニナツテ居リマス、ソレ故ニ分科會ハ都合十四回ホド開カレテ居リマス、請願文書表ヲ出シマシタルコトハ都合五回デ、皆様ノ御手許ニ同ッテ居リマスル等デゴザイマス、請願委員會ノ特別報告ハ二號ホド出シマシテ、是モ皆様ノ御手ニ同ッテ居リマス、今日日程ニ上ボツテ居リマスルノハ即チ其一號ト二號ノ特別報告ニ付キマシテノ會議デゴザリマス、請願ノ件數ハ合計、是マデ請取リマシタモノハ百三十五件ゴザリマシテ、其通數ハ二百六十二通ゴザリマス、請願文書表ニ載セテゴザリマスノハ百十九件デ、通數ニ致シマシテ二百四十六通デゴザリマス、此百十九件ノ中デ貴族院規則百三十四條ニ依リ

マシテ院議ニ付スベシト決シマシタモノガ十九件ゴザリマス、院議ニ付スルヲ要セズト決シマシタモノガ二十二件ゴザリマス、今日審議中ノモノハ七十八件ゴザリマス、先ヅソレダケ御報告申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際諸君ニ御諮リヲ致シマス、議事日程ノ第三、第四、第五ハ皆豫算案ノ審査期限ヲ定ムルノ件デゴザイマス、東ネテ問題ト致シテ宜カラウト思ヒマスガ……

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、議事日程第三、明治四十年度歳入歳出總豫算追加案第一號審査期限ヲ定ムルノ件、第四、明治四十年度各特別會計歳入歳出總豫算追加案第一號審査期限ヲ定ムルノ件、第五、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第二號審査期限ヲ定ムルノ件

〔左ノ通牒文ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

(第一號)明治四十年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年二月二十三日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

(特第一號)明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年二月二十三日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年二月二十三日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

○伯爵正親町實正君 此追加豫算ノ審査期限ハ今日ヨリ二週間、來ル三月十一日中ニ致シタイト考ヘマス、此動議ヲ……

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

○男爵中川興長君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 正親町伯爵ノ動議ノ通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六、煙草專賣法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、本日モ通牒文ノ朗讀ハ省略イタシマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

煙草專賣法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年二月二十一日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

煙草專賣法中改正法律案

煙草專賣法中左ノ通改正ス

第四十一條 政府ノ命令又ハ許可ヲ受ケシテ煙草ノ輸入ヲ圖リ若ハ其ノ輸入ヲ爲シタル者ハ其ノ煙草ノ價格ノ十倍ニ相當スル罰金ニ處シ其ノ煙

草ヲ沒收ス但シ其ノ罰金額ハ百圓ヲ下ルコトヲ得ス
前項ノ價格ハ其ノ煙草ノ生産地又ハ仕入地ニ於ケル原價ニ荷造費、運送

費、保險料其ノ他輸入地ニ到著スル迄ノ諸費及輸入税ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノトス

〔第四十一條〕ヲ〔第四十一條ノ二〕ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法律案ハ煙草ノ密輸入ヲ致スモノガ往々ゴザリマスヤウニ考ヘラレマス、是ハ御承知ノ通りニ煙草ヲ專賣ニ致シマシタ結果、此煙草ガ原價ト賣價トガ非常ニ差ガゴザリマス、現今ノ所デアリマス時トミ取押ヘラレテモ 尙ホ輸入ヲ企テルト云フヤウナ事情モ無イトモ圖ラレマセヌ、御承知ノ通りニ煙草ハ段々專賣ノ結果、整理イタシテ參リマシテ、既ニ三千萬カラノ收入デゴザイマスガ、將來財源ト致シマシテハ餘ホド伸張ノ餘地ノアリマスルモノデ、此財源ヲ培養スルト云フコトハ刻下ノ急務ト考ヘルノデ、此脫稅ヲ圖リマスル者ノ制裁ヲ嚴重ニ致シタイト斯ウ云フノデゴザイマス、速ニ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質問モ無イヤウデゴザイマスカラ、次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第七、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此特別委員ハ議長ガ選定イタシマシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八、保稅倉庫法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

保稅倉庫法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治四十年二月二十一日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

保稅倉庫法中改正法律案

保稅倉庫法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

保稅倉庫ニハ外國ニ輸出スヘキ内國貨物ヲ藏置スルコトヲ得

第二條中「藏置ノ貨物」ヲ「藏置スル輸入手數未済ノ貨物」ニ改ム
第三條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ災害ニ因リ滅失若ハ變質シ又ハ政府ノ承認ヲ得テ滅却シタル貨物ハ此ノ限ニ在ラス

第六條中「稅關法及稅關規則」ヲ「關稅法」ニ改ム

第七條中「滿一箇年」ヲ「滿二箇年」ニ改ム

第九條 保稅倉庫ニ若ハ保稅倉庫ヨリ輸入手數未済貨物ヲ運搬スルトキハ當該官廳ハ貨主ヲシテ其ノ貨物ノ輸入稅ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

前項ノ貨物當該官廳ノ指定期限内ニ仕向地ニ到達セサルトキハ輸入稅ヲ徵收ス但シ災害ニ因リ滅失シタルモノニシテ政府ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 藏置期限ヲ經過シテ貨物ノ引取ヲ爲ササルトキハ當該官廳ハ利害關係者ノ費用及危險ノ負擔ヲ以テ之ヲ收容スルコトヲ得

關稅法第三條、第四十七條乃至第五十二條ノ規定ハ前項ニ依リ收容シタル貨物ニ之ヲ適用ス

第十八條 保稅倉庫ノ業ヲ營ムトスル者ハ主務大臣ノ特許ヲ受クヘシ
第二十條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ其ノ保管スル貨物ノ輸入稅ニ付一切ノ責任ヲ有ス

第二十二條 削除

第二十三條中「滿一箇年」ヲ「滿二箇年」ニ改ム

第三十三條第二項ヲ削ル

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

關稅法第三條中「保稅倉庫ニ庫入シタル貨物ノ關稅ハ庫入申告ノ日、」ヲ削リ非常特別稅法第二十六條ヲ削ル

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此保稅倉庫法中改正法律案ハ、條文ハ澤山ゴザリマスルガ、是ハ簡單ナコトナンデゴザイマシテ、詰リ此保稅倉庫法ヲ最初制定イタシマシタ以來、非常ニ倉庫業ガ發達イタシテ參リマシテ、貿易ノ上ニ極メテ便利ヲ感ジマスルヤウニナリマシタ、ソレニ付キマシテハ輸出ノ物品

モ尙ホ此庫ヲ利用スルコトガ出來ルヤウニ致シ、其外極細カイコトデ……取
扱上極細カイコトデ倉庫業者並ニ其所ニ物品ヲ預ケマスル人ノ便利ノ爲ニ數
箇條修正ヲ加ヘタイト云フノデゴザイマスガ、近來ニ於キマシテ此倉庫業ノ
發達ハ實ニ喜ブベキ有様ニナツテ居リマスノデ、神戸ノ如キ其他各地トモニ
盛ニ此倉庫業ガ起リマシテ、貿易ノ上ニ非常ニ便宜ヲ與ヘテ居リマス、政府
ニ於テハ益、此倉庫業者ニ向ッテ出來得ル限り便宜ヲ圖ッテ貿易ノ發達ヲ圖ル
ト云フ考デゴザイマス、箇條ハ多ウゴザイマスガ、中ノ事柄ハ極メテ簡單ナ
コトデゴザイマス、是モ又御賛成ノ上御協賛ヲ願ッテ置キマス

○子爵谷干城君 私ハ豫算ノ第三分科ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ、御
許シヲ願ヒタイ

○議長(公爵德川家達君) 谷子爵ノ御要求通り御異存ハゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガゴザイマセヌカラ宜シウゴザイマス、別
ニ御質問モ無イヤウデゴザイマスカラ、次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委
員ノ選舉、是モ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十、癩豫防ニ關スル法律案、政府提出、
衆議院送付、第一讀會

癩豫防ニ關スル法律案
貴族院議長公爵德川家達殿
衆議院議長 杉田 定一

第一條 醫師癩患者ヲ診斷シタルトキハ患者及家人ニ消毒其ノ他豫防方法
ヲ指示シ且三日以内ニ行政官廳ニ届出ヘシ其ノ轉歸ノ場合及死體ヲ檢案

シタルトキ亦同シ

第二條 癩患者アル家又ハ癩病毒ニ汚染シタル家ニ於テハ醫師又ハ當該吏
員ノ指示ニ從ヒ消毒其ノ他豫防方法ヲ行フヘシ

第三條 癩患者ニシテ療養ノ途ヲ有セス且救護者ナキモノハ行政官廳ニ於
テ命令ノ定ムル所ニ從ヒ療養所ニ入ラシメ之ヲ救護スヘシ但シ適當ト認
ムルトキハ扶養義務者ヲシテ患者ヲ引取ラシムヘシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者
又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長(市制町村
制ヲ施行セサル地ニ在リテハ市町村長ニ準スヘキ者)ヲシテ癩患者及其
同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

第四條 主務大臣ハ二以上ノ道府縣ヲ指定シ其ノ道府縣内ニ於ケル前條ノ
患者ヲ收容スル爲ニ必要ナル療養所ノ設置ヲ命スルコトヲ得

前項療養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム
主務大臣ハ私立ノ療養所ヲ以テ第一項ノ療養所ニ代用セシムルコトヲ得

第五條 救護ニ要スル費用ハ被救護者ノ負擔トシ被救護者ヨリ辨償ヲ得サ
ルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

第三條ノ場合ニ於テ之カ爲要スル費用ノ支辨方法及其ノ追徴方法ハ勅令
ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 扶養義務者ニ對スル患者引取ノ命令及費用辨償ノ請求ハ扶養義務
者中ノ何人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得但シ費用ノ辨償ヲ爲シタル者ハ
民法第九百五十五條及第九百五十六條ニ依リ扶養ノ義務ヲ履行スヘキ者
ニ對シ求償ヲ爲スコトヲ妨ケス

第七條 左ノ諸費ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス但シ沖繩縣及東京府
下伊豆七島小笠原島ニ於テハ國庫ノ負擔トス

一 被救護者又ハ其ノ扶養義務者ヨリ辨償ヲ得サル救護費
二 檢診ニ關スル諸費

三 其ノ他道府縣ニ於テ癩豫防上施設スル事項ニ關スル諸費
第四條第一項ノ場合ニ於テ其ノ費用ノ分擔方法ハ關係地方長官ノ協議ニ
依リ之ヲ定ム若シ協議調ハサルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四條第三項ノ場合ニ於テ關係道府縣ハ私立ノ療養所ニ對シ必要ナル補

助ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ費用ノ分擔方法ハ前項ノ例ニ依ル
第八條 國庫ハ前條道府縣ノ支出ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ六分ノ一乃
至二分ノ一ヲ補助スルモノトス

第九條 行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ指定シタル醫師ヲシテ癩
又ハ其ノ疑アル患者ノ檢診ヲ行ハシムルコトヲ得

癩ト診斷セラレタル者又ハ其ノ扶養義務者ハ行政官廳ノ指定シタル醫師
ノ檢診ヲ求ムルコトヲ得

行政官廳ノ指定シタル醫師ノ診斷ニ不服アル患者又ハ其ノ扶養義務者ハ
命令ノ定ムル所ニ從ヒ更ニ檢診ヲ求ムルコトヲ得

第十條 醫師第一條ノ届出ヲ爲サス又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ五十圓
以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 第二條ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 行旅死亡人ノ取扱ヲ受クル者ヲ除クノ外行政官廳ニ於テ救護中
死亡シタル癩患者ノ死體又ハ遺留物件ノ取扱ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ
之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員吉原三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(吉原三郎君) 本案ヲ提出イタシマシタ理由ヲ申上ゲマスルガ、
癩病ハ從來系統ニ因ッテ傳ハッテ居ル病氣ノヤウニ考ヘテ居ラレマシタノデア
リマスガ、近來ノ學說ニ依リマスルト、是ハ一種ノ傳染病ト云フコトニナリ
マシタノデアリマス、而シテ此病氣ハ其發病カラ經過ナドガ頗ル緩慢ナ病氣
デアリマスルノデ、傳染病ト申シマシテモ虎列刺トカ或ハ「ベスト」ノ如キ世
人ノ注意ヲ惹クコトガアリマセヌノデアリマスガ、併ナガラ直接ノ接觸ト或
ル病毒ノ汚染シマシタル物品ノ媒介等ニ因リマシテ、傳染ヲスルト云フ事實
ハ歷々ゴザイマスノデアリマス、サウシテ我國ニ於キマシテハ不幸ニシテ此
病氣ニ罹リマスル者ガ大變多クアリマシテ、公園トカ或ハ神社佛閣若クハ溫
泉場ナドニ徘徊ヲ致シテ居ル者ガ隨分多イノデゴザイマスルデ、從ッテ是等
ノ者ガ病毒ヲアチコチニ傳播スルト云フヤウナ虞レガアリマスカラ、是等ノ
病毒ノ傳播ヲ豫防スルノ必要モアリマスルシ、又外觀上ニ於キマシテモ多人
數群集ノ地ニ、是等ノ病者ノ徘徊イタシマスルノハ最モ厭フベキコトデアリ

マスカラ、是等ノ取締モ要サナケレバナラヌ、ソレ故ニ此自ラ救護スルノ資
力ノ無イ者、或ハ救護者ノ無イ者ニ付キマシテハ、一定ノ場所ニ收容ヲ致シテ
ソレノ治療ヲ加ヘルト云フヤウナコトヲ致シマスル、ソレカラ又自分ミヅ
カラニ於キマシテ治療ヲスルコトノ出來ル者デアリマシテモ、此發病者ガア
リ或ハ死者等ノアリマシタトキニハ、他ノ傳染病ノ如クニソレノ消毒等ヲ
致サセマスル必要ガゴザイマスルノデ、本案ヲ提出イタシマシタノデゴザイ
マス、宜シク審議ノ上御協賛ヲ仰ギマス

○伯爵柳澤保惠君 政府委員ニ質問ヲ致シマス、癩病ノ日本ノ各縣ニ於ケル
數ガゴザイマセウト存ジマスガ、其數ハドノ縣ニ多イカ、其實況ヲ少シ御話
ヲ願ヒタイ

〔政府委員窪田靜太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(窪田靜太郎君) 癩病ノ患者數ハ今日マデ届出ナドノ規定モゴザ
イマセヌノデ、時ニ地方ニ命ジテ警察ノ手デ取調ベタ材料ガゴザイマスノデ
アリマスガ、左様ナ次第デゴザイマスカラ極メテ正確ト云フコトハ申シ難イ
ノデゴザイマス、其先年調べマシタ所デハ三萬餘ト云フ數ガ出テ參ッテ居リ
マス、ソレカラ又一方デハ此徵兵檢査ノ結果、癩病デ不合格デアルト云フ者
ノ數ガ年々凡ソ五六百人ホドゴザイマス、之ヲ檢定ノ割合ニ當テテ見マスル
ト、千人ニ對シテ一・三ト云フ位ノコトニナリマスノデ、ソレカラ推算イタシ
マスルト云フト、假ニ此徵兵適齡ノ者ト同ジ位ノ程度ニ、一般ノ國民ノ患者ガ
アルモノト假定シテ推算イタシマスルト五萬人餘ニナリマス、ソレカラ又年
々癩病デ死亡シタト云フ者ノ數ガ二千人餘リ出テ居リマス、ソレ等ノ色々ノ
點カラ綜合イタシマシテ考ヘマスルト、全國デ少クモ三萬ハアリマスルガ、
大凡矢張り五萬グラ非ハアルモノト考ヘナクテハナルマイト云フ見込デ居リ
マス、ソレカラ各地方ニ於ケル患者ノ多少ハ今日マデ右様ナ方法デ警察ノ手
デ調べマシテ集メマシタ所ニ依ルト、九州地方ハ矢張り熊本、アノ地方ガ多
イヤウニ數ニ出テ居リマス、併シ大抵各府縣トモ何レモ相當ノ數ノ患者ハゴ
ザイマスルノデ、先ヅ全國ニ行ッテ居ルト考ヘテ差支ナイノデアリマス、大
要ハソナナ情況デゴザイマスカラ一言御答ヲ致シテ置キマス

○伯爵柳澤保惠君 今ノ御説明ニ據リマスルト熊本ガ多イヤウデゴザイマス
ガ、熊本ノ外ノ府縣ニハ著シイ所ハ無イノデアリマスカ、又熊本ハ其土地デ
發生シナイデ他カラ來タ者ガ多イノデハナイカ、事實發生地トシテ多イノデ

ゴザイマス、ソレニ續ク他ノ地方ハドコデゴザイマス、ハッキリ伺ヒタイ

〔政府委員窪田靜太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(窪田靜太郎君) 此五箇年間癩病デ死亡シタ者ノ各府縣ノ數、之ヲ各府縣ノ人口ノ比例ヲ取リマシタモノガゴザイマスガ、之ニ據リマス、ト云フト、此統計ニ現ハレテ居ル所デハ、宮崎縣ガ……總死亡ニ對シタ比例デゴザイマスガ、總死亡ノ千ノ中デ癩病ノ死亡ガ宮崎縣ハ九・五四ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ其次ニ熊本縣ガ七・二六ト云フ數ニ出テ居リマス、ソレカラ鹿兒島縣ガ六・一九、其次ノ沖繩縣ガ四・七九、ソレカラ青森縣ノ四・四九、ソレカラ愛媛縣ノ四・三六、山口縣ノ四・二七、其他最モ少イ所ニナリマス、ト云フコト云フヤウナ所モアリマス、デゴザイマス、先ヅ是等ガ此地方ノ多少、患者ノ多少ト云フコトニ付イテハ或ル程度マデハ參考ニナルモノト見テ居リマスガ、先刻申シマスルヤウニ唯今マデ一定ノ規定モゴザイマセズシテ居ルノデゴザイマス、之ヲ以テ確然動カスベカラザルモノト云フコトハ申サレマス、マイト思ヒマス、多少ノ相違ハアラウト思ヒマスガ、大體ガサウ云フヤウナ情況デゴザイマス、左様……

○村田保君 本員モ唯今ノ御説明ニ付イテチヨット伺ヒタイ、此癩病ト申シマスルモノハ何デゴザイマセウカ、世界中ドコガ一番多イデスカ、日本ナドハ多イ方デゴザイマス、少イ方デゴザイマス、心得ノタメ伺フテ置キマス、歐羅巴……歐米各國中、ドコノ國ガ多イカ、日本ハドノ位ナ數デアリマスカ

〔政府委員窪田靜太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(窪田靜太郎君) コチラニ分ツテ居リマス所デハ、唯今數ハ記憶イタシマセヌガ、印度ガ一番多イノデ、併ナガラ是ハ人口ガ又非常ニ多ウゴザイマス、人口ノ比例カラ申シマス、ト云フト、マア内務省デ分ツテ居リマス、所ハ日本ガ一番多イ、殆ド之ニ比較スベキヤウナ數字ハ他ノ國デハ見ラレマセヌ情況デアリマス

〔村田保君熱帶地方ガ多イデスカト述ブ〕

ドウモ左様ナ關係モアリマス、印度ガ本場ノヤウニ見受ケマス、全體フ非リッピンニハ亞米利加ノ政府ニ於カレマシテ癩病ニ非常ニ力ヲ用非マシテ、一昨年カラクリオン島ニモツテ行ツテ收容地ヲ作ツタト云フコトデアリマス、全國ノ患者ガ四千乃至五千ト云フコトニ申シテ居リマス、日本ハ此點ニ於キ

マシテハ遺憾ナガラ餘ホド多イコトニナツテ居リマス

○伯爵柳澤保惠君 今細カニ各府縣ノ比例ヲ伺ヒマシタガ、宮崎ノ方ガ熊本ノ方ヨリ多イコトデアリマスガ、宮崎ノ方ガ九・五四、熊本ノ方ガ七・二六、サッキハ熊本ガ多イト言ハレタヤウデアリマシタガ、違ヒマス

〔政府委員窪田靜太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(窪田靜太郎君) 此統計ニ出マシタ所デハ、宮崎ガ比例上高イコトニナツテ居リマス、唯今ハアノ地方ガ多イヤウニ思ハレテ居リマス

○伯爵柳澤保惠君 宮崎縣ガ多イノデスナ

○政府委員(窪田靜太郎君) マア九州地方デスネ

○男爵野田豁通君 政府委員ニ御質問ヲ致シマスガ、唯今熊本縣ニ關シマスル人員ノ數ハ御分リニナリマス、ソレハ本籍ニ屬シマスルノト、寄留ニ屬シマス者ノ區別ガ分ツテ居リマス、カ否ヤ、實ハ私モ熊本出身ノ者デアリマスガ、幼少ノ時分ヨリ、此熊本縣ニハ癩病者ガ多イト云フ、是ハ皆サン御承知ノ熊本ニ清正公ノ廟所ガゴザイマス、本妙寺ト稱シマス、所、之ニ全國ノ癩病者ガ千箇寺ト稱ヘマシテ澤山ナ者ガアスコニ集マッテ參リマス、今日ニ於キマシテモ矢張り此本妙寺ニハ各國ノ千箇寺ト稱シマス、癩病者ガ參ッテ居リマスガ、是等ノ者モ矢張り熊本縣ノ癩病者ト云フ者ニ恐ラク算入ハ致シテ無イカト思ハレマスガ、其邊ノ調ト、本籍、寄留者ノ調べガ明ニ分ツテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ私ハ御尋ネ申シタイノデアリマス

〔政府委員窪田靜太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(窪田靜太郎君) 唯今本籍ト、寄留ノ區別ハ申上グルコトハ出來マセヌガ、唯今申上ゲマシタノハ詰リ他府縣ノ者モ這入ッテ居ル積リデゴザイマス、左様……

○男爵伊達宗敦君 大分皆サンカラ御質問ガ出マスカ、私モ質問ヲ致シマス、チヨット政府委員ノ御聽キヲ願ヒマス、此癩病ト云フモノハ金刀比羅ノ緣日デアルトカ、淺草ノドコデアルトカ云フ所ニ手足ノ無イ者ガ癩病患者デアルト云フ、ソレガ甚ダ危險デアル、斯ウ云フヤウナ御説明デアッタヤウニ承ツタデス、尤モアナタノ御説明中ニ私ハココヘ出テ來タノデアリマス、カラ、前カラノコトハ能ク分リマセヌガ、若シ其通り病人ガ……患者ノ手ヤ足ノ無イ者ガ徘徊シテ居ルヤウナ時ニ其跡ニソコ等ヲ歩イタ者ガ果シテ其「パチルス」ガクツクトカ、傳染スルトカ云フヤウナ甚ダ危險ナコトガアルモン

デセウカ、ソコヲチヨット伺ッテ置キマス、本場トカ云フソナコトハ、ドウ
デモ宜イガ、果シテ癩病ヤミノ足ノ無イ者、手ノ無イ者ガ徘徊シタリ、ソコ
ヲ歩イテ居ルト其「パチルス」ガ飛ンデ來テ感染スルコトガアルモンデアリ
マセウカ、チヨットソレヲ伺ヒマス

〔政府委員窪田靜太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(窪田靜太郎君) 觸接性ノ傳染病ト云フコトニナッテ居リマスガ、
乞食ナドガ局部ヲ…患部ヲ暴露シテ居リマス所ヲ通ッタト云フ、其クラ非ノ
コトデ直グ感染スルト云フモノデハナイ、矢張り直接若クハ間接ニ其患部ニ
觸レルトカ、或ハ患部ニ觸レタ紙キレ…布片デアルトカ云フヤウナモノガ、
コチラノ體ニ觸レルト云フコトニ依ッテ傳染スルコトニナッテ居リマス、唯
空氣ガ飛ンデ來ルト云フ譯デ無イヤウナ趣ニ承知シテ居リマス、此傳染ノ力
ト云フモノハ直グサウヒドク飛ンデ來テ傳播スルト云フモノデハアリマセ
ス、緩慢性ナル趣デアリマスガ、併シ其病氣ガ緩慢ダケニ又根柢ガ甚ダ深い、
其點ニ於テハ最モ注意スベキモノデアルト云フヤウニ承知イタシテ居リマス
○男爵伊達宗敦君 チヨットモウ一ツ…ソレハ、緩慢デアルカ知レマセヌガ、
詰リ私ノ御尋ネシタノハ直接ニ患部ニ觸レル、觸ルレバ無論危險ニ違ヒナイ
ガ、間接ニ其患者ガ…何ト言ッテ宜イカ歩イテ居ルト、ソコデ其土ガ乾燥
シテ來ルト風ヤ何カノ時ニ塵ニナッテ飛ンデ來ル、其ノ中ニ若シ癩病ヤミノ
微菌ガアッタストルト、随分危險ナモノト思ヒマスガ、併シソレハ左ホド恐
ルモノデナイ、危ブナイモノデハナイ、左ホド恐ルルモノデナイト云フ御
見込デアリマスカ

〔政府委員窪田靜太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(窪田靜太郎君) 矢張りサウ云フモノニ付キマシテ、サウシテ附
著シタ其物ガコチラノ身體ニ來テ、ソレガ又此身體ニ附著スル、サウシマス
レバ傳染スルト云フ性質ノモノト承知シテ居リマスガ、併ナガラ唯今御話ノ
事例ノ如キ…例ノ如キ場合ニ於テ一個ノ健康ナル人ニ對シテ、ソレデ感染
スルト云フコトハ餘ホド少イ、即チサウ云フ風デ感染スルト云フ傳染力ハ左
ホド強クハナイト云フコトニ承知シテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第十一、右議
案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此特別委員ノ選定ハ議長ニ御委任ニ

ナリマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無イト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二、輸入原料砂糖戻税法中改正法律
案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
輸入原料砂糖戻税法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治四十年二月二十一日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

輸入原料砂糖戻税法中改正法律案

輸入原料砂糖戻税法中左ノ通改正ス

第一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

輸入ノ砂糖ニシテ和蘭標本色相第十五號未滿ノモノヲ原料トシ政府ノ承
認ヲ得テ精製糖又ハ氷砂糖ヲ製造シタル者ハ其ノ原料砂糖ノ數量ヨリ製
造ノ際生成シタル和蘭標本色相第十五號未滿ノ砂糖ノ數量ヲ控除シタル
數量ニ對シ左ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコト
ヲ得

一 製品ヲ内地消費ニ供スルトキ

イ 和蘭標本色相第八號未滿ノモノヲ原料トシタルトキハ百斤ニ付金

一圓四十五錢

ロ 和蘭標本色相第十五號未滿ノモノヲ原料トシタルトキハ百斤ニ付

金一圓九十五錢

二 製品ヲ外國ニ輸出スルトキ

イ 和蘭標本色相第八號未滿ノモノヲ原料トシタルトキハ百斤ニ付金

一圓六十五錢

ロ 和蘭標本色相第十五號未滿ノモノヲ原料トシタルトキハ百斤ニ付

〔小字ハ修正文、
ハ削除ノ符號〕

第四條中「明治四十年三月三十一日」ヲ「明治四十四年七月十六日」ニ改ム

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法律案ノ大體ヲ説明イタシマスガ、是ハ御承知ノ通りニ原料ノ砂糖ヲ輸入イタシマシテ精製糖ヲ造リマス者ニハ海關稅ヲ下戻スト云フ現行ノ法律ガ今年ノ三月限り滿期ニナリマスカラ、ソレニ付キマシテハ日本ノ砂糖業ニ對シマシテ、重要ナル關係ヲ持チマスガ故ニ、政府ニ於キマシテハ昨年來特ニ委員ヲ設ケマシテ利害得失ヲ攷究イタシマシタノデゴザイマス、然ル所ガ日本デ以テ消費イタシマス所ノ砂糖ガ四億五千萬斤カラ五億萬斤グラ非ニ要シマスノデゴザイマスガ、日本デハマダ砂糖ノ生産ガ至ッテ少ウゴザイマシテ、一億六千萬斤グラ非シカマダ出來テ居ラヌ譯デアリマス、ソレ故ニ若シ此稅法ヲ此儘繼續イタシマセヌ場合ニハ即チ此精製イタシマシタ白イ所ノ砂糖ガ澤山ニ輸入シテ參ルコトニナリマスノデアリマス、サウ致シマスト現在ハ原料ヲ輸入シテ、ソレヲ我國デ加工イタシテ居ルノガ、其日本デ砂糖ヲ精製スル事業ト云フモノハ廢シテ、外國カラ精製シタ高イ砂糖ヲ買フト云フコトニナリマシテ、經濟上甚ダ面白クナイト考ヘマスガ故ニ、何トカ之ヲ救済スルノ方法ハ無イカト考ヘマスルト同時ニ、一方ニ於テ内地ニ益、原料糖ヲ造ルト云フコトヲ攷究シナケレバナラス、又一面ニ於テハ外國カラ精製糖ノ這入ッテ來ルノヲ防グ爲ニ海關稅ヲ改正スルト云フコトヲスルノ必要ガアル、此二ツヨリ外ニハ之ヲ防グ方法手段ガゴザイマセヌ、然ルニ現今ニ於キマシテハ精製糖ニ對スル海關稅ハ協定ニナッテ居リマシテ、四十四年マデハ之ヲ變更スルト云フコトガ出來マセヌノデゴザイマス、サウ致シマスルト海關稅ノ力ニ依ッテ精製糖ノ輸入ヲ防グコトガ出來ナイ、又一面ニ於キマシテハ内地ニ於ケル原料砂糖ノ生産高ト云フモノハ十分デゴザイマセヌ、是ニ於テ政府ハ此海關稅ノ協定率ト云フモノガ改正ニナルマデハ先ヅ大體ニ於テハ現行ノ戻稅法ヲ繼續スル方ガ宜カラウ、斯ウ云フ考ヲ採リマシタノデアリマス、併ナガラ成ルベク内地ノ原料糖ノ發達ヲ獎勵スルト云フコトヲ眼目トシナケレバナラス、成ルベク内地デ以テ原料糖其他總テノ砂糖ヲ供給スルト云フコトヲ目的ニシナケレバナラスニ依ッテ外國ヘ輸出スル物

ハ全部ヲ戻シマスガ、内地デ消費スル物ハ從來ノ如ク全部ヲ戻サズニ其原料ノ凡ソ五分ニ當ル物ヲ政府ノ收入ノ方ニ殘シテ置イテ其ノ餘ノモノヲ戻スト云フコトニシタラ宜カラウ、サウスルト内地ノ原料糖ニ五分ノ保護ヲ與ヘルコトガ出來ルコトニナル、斯ウ云フコトニナリマス、デ外國ヘ輸出イタシマス方ノ分ハ是ハ最初ハ微々タルモノデアリマシタガ、昨年ハ既ニ一千萬圓ヲ輸出イタシマシテ、將來支那朝鮮ニ對スル砂糖ノ輸出業ト云フモノハ頗ル有望ナモノニナッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ外國ヘ輸出イタシマス分ハ是ハ全然戻スト云フコトガ當然デアラウト考ヘマス、殊ニ衆議院ニ於キマシテハ慎重ニ討議セラレタ結果、政府ノ原案ハ大體ヲ可トスルガ、此期限ヲ將來二箇年ト云フコトニ修正シタ方ガ適當デアラウ、斯ウ云フコトノ論ニナリマシタノデアリマス、ソレハ若シ之ヲ四十四年ノ條約ノ協定稅率ノ滿期ニナルマデ續ケルト云フコトニナルト現在臺灣ニ於キマシテ種々ナル製糖會社ガ起リツツアッテ此製糖會社ノ事業ヲ頓挫セシムル虞ハ無イカ、即チ大ナル製糖會社ガ臺灣ニ起ッテ居ルコトハ御承知ノ通りデゴザイマシテ、又臺灣ニハ從來砂糖ノ出來マスル餘地ガ餘程ゴザイマス、元來臺灣ニハ非常ニ砂糖ガ支那ノ領土時分ニ出來タノデアリマスガ、彼ノ歐羅巴デ砂糖ノ保護ト云フ政策ガ行ハレマシテ以來、臺灣ノ砂糖ハ非常ニ壓セラレマシタ、然ルニ近來歐羅巴ノ砂糖保護政策ト云フモノハ萬國會議ヲ催シテ廢スルコトニナリマシタ、又一方臺灣總督府ニ於キマシテハ臺灣ノ砂糖ニ頗ル力ヲ盡シテ獎勵シテ居ルト云フ譯デアリマス、將來ハ餘ホド有望ナモノデアリマス、其有望ナ所ノ製糖會社ノ事業ガ今ヤ將ニ興ラムトシツツアル、ソレヲ頓挫セシムルノ虞ガ無イカト云フノガ衆議院ノ方ノ論デゴザイマシタ、ソレニ對スル政府ノ方ノ答辯ハ詰リ原料糖ガ出來テ來ケレバ十分ニ外國ノ精製糖ヲ防グト云フコトハ出來ヌ、又縱シバ原料糖ガ日本デ出來ルトシテモ途方モ無イ値段ノ高イ原料糖ガ出來タノデハ矢張り外國ノ精製糖ヲ防グト云フ譯ニ行カヌ、此所ドウシテモ條約ノ協定稅率ノ切レルト云フコトヲ期限トシタ方ガ適當デアアルイカト云フコトデ、政府ハ答辯イタシマシタガ、種々議論ノ結果、衆議院ニ於キマシテハ此二年度ハ臺灣ノ糖業ノ發達如何ト云フコトヲ見テ、サウシテ其時ニ於テ尚ホ臺灣ノ糖業ガ微々タルモノデアッタナラバ更ニ條約ノ期限マデ延バスト云フコトニシテモ宜イデハナイカ、斯ウ云フコトデ修正案方通過イタシマシタ次第デアリマス、政府ニ於キマシテハ此原案ガ適當デアラウト考ヘテ

ハ居リマスガ、併ナガラ其當時ニナツテ、モウ一遍法律案ヲ出シテモ宜イデハナイカ、多少ソレハ臺灣ノ糖業ニ向ツテ獎勵ニナルデハナイカト云フコトハ一論デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ等ノコトモ研究ノ上デ條約期限ト云フコトハ宜カラウト云フコトデ、原案ヲ提出イタシタノデアリマスガ、是ハ貴族院ニ於テ十分御審議ノ上、御決定アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵廣澤金次郎君　チヨット政府委員ニ質問イタシタウゴザイマスガ、明治三十五年ニ戻税法案ガ衆議院カラ提出サレタ場合ニハ、政府ハ徹頭徹尾、之ニ反對サレタノハ其頃ノ速記録デ明ダト考ヘマスガ、シカモ其時分ノ政府委員ハ今日ノ大藏大臣及大藏次官ダト考ヘマスガ、政府モ今日ハ三十五年ノ時ノ政府ノ推定ハ間違ッテ居、タト云フコトヲ自信ナスッテ御提出ニナツタカドウカト云フコトヲ第一ニ承リタイ、第二ニハ其時分ノ政府ノ主張サレタノハ戻税ナルモノハ再輸出品ニ戻税ヲスルノハ原則デアルガ、内地デ消費スルモノニ對シテハ戻税ヲスルモノデナイト云フ御答辯デアッタト考ヘマス、ソレトモウ一ツノ議論ハ戻税ノ取締ニ甚ダ困難ヲ生ズラウト云フ御説ガアッタト思ヒマス、私ノ質問シマスノハ今日ノ内地ノ精製糖ノ原料糖ノ戻税ニ對スル取締ガ付イテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレハ二三年前ト考ヘマスカ、小名木川ノ精製糖會社ニ戻税ニ就イテ不正ノ事件ガアリマシテ、殆ド刑事事件ニナリカケタコトヲ承知シテ居リマスルガ、ソレ等ノコトニ鑑ミマシテモ今日ハ戻税ノ取締ハ十分政府ニ於テ出來ルコトナツテ居リマスルカ、其點ヲ一ツ承リタイト考ヘマス、モウ一ツノ點ハ此度ノ戻税法案ニ依リマスト現今ノ戻税ヨリ三十錢減シタルモノヲ戻スコトニナツテ居ル、即チ其三十錢ト云フ率ハドウ云フ方針、又ドウ云フ標準カラ出シタト云フコトヲ委シク説明ヲ得タイ、唯今ノ御説明ニ依リマスレバ、總テノ砂糖ノ從價税ノ五分ト云フコトデアリマスルガ、併ナガラ政府ハ一方ニ精製糖ヲ保護シ一方ニ原料糖ヲ保護シ兩方相俟ッテ輸入ヲ防ギタイト云フ御方針デアルヤウニ承リマシタガ、サウシテ見マスルト外國カラ參リマス白糖糖ニハ協定税率ニ於テ八十二錢イクラノ税ガアリマスカラ或ハ八十二錢デハ酷デイカヌ、之ニ近キモノハドツチカ精製糖ニ害ガ及ビマスマイ、同時ニ第一ニ内地ノ精糖ノ原料ノ培養ヲ保護スル點ニ近イモノダラウト考ヘマスルガ、三十錢ト云フ率ハドウ云フ所カラ御割出シニナツタカ、委シイ御説明ヲ願ヒタイ

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君)　御答イタシマス、此砂糖ノコトニ付キマシテハ故大久保内務卿以來、非常ニ日本デ砂糖ヲ造ルコトヲ政府ガ骨折ツタコトハ御承知ノ通りデゴザイマセウ、是非内地ノ砂糖ヲ獎勵發達スルコトハ徹頭徹尾動かス議論デアル、ソコデ此目前、戻税法ノ出マシタ時ノ政府ノ考ハドコマデモ日本ノ砂糖ヲ保護シテ行クト云フコトノ主義ノ方ガ宜カラウト云フ考ヲ有ッテ居リマシタノデゴザイマスケレドモ其以來、此税法實施後ノ形勢ハ精製糖ノ輸入ト云フモノハドン／＼殖エテ來ル、之ヲ防グニハ矢張り原料、即チ瓜哇ノ原料ヲ日本ニ輸入シテ之ヲ防イダ方ガ經濟上ドウシテモ得ガアル、日本デ若シ消費スルモノガ日本デ出來得テ同時ニ關稅ノ力デ保護スルコトガ出來ルナラバ宜イノデアリマスケレドモ、ドウシテモ今日ノ勢ヒヲ以テスレバ原料糖ハ矢張り瓜哇カラ取ッテサウシテ精製ヲコッテデシタ方ガ得ガイクト云フコトヲ發見イタシマシタコトハ、是ハ動かカス論デアルト思フ、今如何ニ此所デ日本デ砂糖ヲ全部造ラウトシテモ現ニ一億六千萬斤シカ出來テ居ラヌ、而シテ日本デ消費スルモノハ四億五千萬斤以上デアリマス、又清國ハ輸出イタシマスルモノガ二萬八千方カ既ニ輸出シテ居ル譯デアリマスカラ、全部日本デ造ルト云フコトハ到底出來ナイ、サウシテ見レバ廉イ原料糖ヲ入レテソレヲ加工シ日本デ使用シ又外國ニ輸出スルコトガ適當ナルコトト確信イタシマス、ソレユエ前ニ政府ガ戻税法ニ反對シテ何デモ彼デモ日本デ作ルト云フコトヲヤッテ見ヤウト言ッタノハ研究ガ未ダ十分デナカッタラウト信ジマス、ソレカラ取締ノコトニ付キマシテハ是ハ段々嚴重ナ方法ヲ設ケテ居リマシテ今日ニ於キマシテハ餘ホド取締ガ行届クヤウニナツテ居ルト考ヘマス、是ハ段々精製糖會社ノ方ノ人ミトモ交渉イタシマシテ、ドチラモ便利ヲ圖リ政府ガ餘リガサツニ干渉ヲ致シマスルト工業ニ不便ヲ來タシマス、向フモ信用ヲ守ルト同時ニ政府モ又十分ナル簡便ノ法ヲ與ヘル、併ナガラ脱税ト云フコトニ付イテハ毫モ假借ヲシナイト云フ嚴重ナ取締法ヲ設ケ、其取締法ノ上ニ於キマシテハ畧ト止リト云フモノガ段々明ニナツテ參リマシタカラ今日ニ於テハ餘ホド取締モ簡易ニ而シテ完全ニ行ハレルヤウニナツテ參リマシタ、ソレカラ五分ノ率、是ハ原價ニ對シテ五分ニ當ルモノヲ算出イタシマシタノデ、詰リソレダケノ保護ハ矢張り内地ノ原料糖ヲ作ル者ニ對シテ與ヘルコトハ今日ニ於テ適當デアラウト考ヘマシタ、其計算ノ委シイコトハ尙ホ御尋ネガゴザイマスレバ、特別委員會デモ申上ゲテ宜シウゴザイマス

○男爵松平正直君 大藏大臣ニ質問ガアリマスルガ、唯今砂糖税ニ付イテ衆議院ニ於テ二年ノ年限ヲ附シタト云フ御説明ガアリマシタガ、ソレニ對セラ
ル政府ノ意向ハ絶對ニ反對デアルノカ、御同意ナサレタノカ、又ハドチラデ
モ宜イ貴衆兩院ノ決議ニ從フト云フ意志デアルカ、其邊ガ明瞭ナリマセナカ
ツカラ、今一言明瞭ニ御答アラムコトヲ希望イタシマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) ソレハ御尋ネノ通りデゴザイマスルガ、其譯ハ政
府ニ於キマシテハドウシテモマダ二年デハ十分ナ内地ノ原料糖ノ生産ヲ見ル
コトガ出來ヌト思ヒマスルノデ、議論カラ申シマスレバ矢張り原案ノ方ガ宜
イト云フ考デアリマス、併ナガラモウ一度其場合ニ法律ヲ協賛シテモ宜イデ
ハナイカ、斯ウ云フ議論デアレバ即チハ程度ノ論デアリマスカラ絶對ニ原
案ヲ主持イタシマセヌ

○男爵尾崎三良君 本員モチョット大藏大臣ニ質問シタウゴザイマスガ、其
意味ハ即チ松平男爵ヨリ御質問ニナリマシタ點デアリマスガ、此質問ニ對ス
ル御答ニ依ルト、政府ハ原案ノ通りガ宜イト思フケレドモ、又其期限ニナッ
タラ更ニ法律案ヲ提出シテ贊成ヲスルト云フヤウナ、チョット申セバ豫約附
キノ修正ノヤウニ聞エマスガ、ソレガ本員等ノ見ル所ヲ以テモ協定税率ノ期
限ノ切レヌ中ハ假令臺灣ニドノ位ノ粗製糖ガアツテモ此粗製糖ニハ随分重イ
海關稅ヲ附シテ居ル、精製糖カラ見ルト何倍ト云フ重イ稅ガ附シテアルカラ、
ドウシテモ臺灣ノ粗製糖ガ出來テモ是ハ外國カラ輸入スル精製糖ノ如ク廉イ
精製糖ハ出來ナイデアラウト思フ、シテ見ルト折角輸入精製糖ガ段々減ッテ
尙ホコチラカラモ輸出スルコトニナッタ、此事業ガ其時ニナッテ忽チ我ガ國ノ
經濟上ノ不利益ニナルト云フコトハ是ハモウ言ハヌデモ分ッタ話デアリマス
ルガ、本員等ハ假令臺灣ニ粗製糖ガ澤山ニ出來テモ、協定税率ノ改ラヌ以上
ハ、ドウシテモ精製糖ノ輸入ヲ妨グコトハ出來ナイト思ヒマス、ソレハドン
ナ御意見デアリマセウカ、澤山出來レバ假令粗製糖ノ輸入稅ガ重クテモ内地
ナリ臺灣デ出來タ粗製糖ハ外國ノ精製糖ノ如ク廉ク出來ルト云フ御確信ガア
リマセウカ、其邊ヲ伺ヒタイト思ヒマスルシ、ソレカラドウモ此砂糖ノ戻稅
ト云フコトニ付イテハ随分種々ナル噂ガアリマシテ、甚ダ面白クナイ、是ハ
矢張り政府原案ノ如ク協定税率ノ終ラ告グルマデ期限ヲ決メタ方ガ：：又候
二年ヲ過ギテ此法律案ガ出ルト云フコトニナルト種々ナル方面カラ運動ガ起

ルト云フコトハ甚ダ面白クナイト思ヒマスガ、其邊ハ如何ナル御考デアリマ
セウカ、一應政府ノ御考ヲ承リタイ

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 唯今ノ御尋ネハ至極政府デモ心配イタシテ居リマ
スル問題デゴザイマスガ、是ハ日本ノ糖業上ニ大ナル關係ノアルコトデゴザ
イマシテ、臺灣總督ノ意見ニ依リマスレバ是ハ十分ニ出來ヤウト云フ考ヲ持
ツテ居ラレルノデ、即チ產出高モ殖ヤシ又價モ廉價ニ作ルコトガ出來ヤウ
ソレハ即チ此種チヲ：：苗ヲ改良シ器械ヲ改良シ又灌漑ノ事業モ行ッテ行ク
ナラバ出來ヤウト云フ臺灣總督ハ考ヲ持ッテ居ラレルヤウデス、併ナガラ是
ハ餘ホド今日カラ二億萬斤カラノ產出ヲ殖ヤスノデゴザイマスカラ、先ヅ今
後二年間ニソレガ果シテ出來ルカ出來ヌカト云フコトハ、ナカノムヅカシ
イ問題デス、其經畫デ臺灣總督ハ居ルト云フコトヲ申スヨリ外、仕方ガナイノ
デアリマシテ、ソレ等ハサウ出來ルデアラウト云フノモ一ツノ論、出來ヌデ
アラウト云フノモ一ツノ論デ、ドチラモ確トハ言ヒ能ハヌコトデアラウト思
ヒマスガ、併シ臺灣總督ハ十分ニソレヲカメルト云フ考ヲ持ッテ居ラレル、
而シテ二年經ッテ又法律ヲ出シテハ面倒イデハナイカト云フ御論ハ、是ハマ
ア貴衆兩院共ニ其時ニ於テ政府ノ公平ナル説明ヲ御聽キ下サイマスレバ、必
ズ御協賛ヲ下サルコトト信ジマス、ソレハ四年繼續シテ置クガ宜イカ、二年
デ切ッテ置クガ宜イカト云フコトハ、程度ノ問題ニ過ギヌト思ヒマス

○男爵尾崎三良君 大藏大臣ノ御説明ヲ承リマシタガ、尙ホ質問イタシタイ
ノハ、マア臺灣ガ今折角經畫シテ居ルカラ二年ノ間ニ二億以上ノ精製糖ノ產
出ガ出來ルデアラウト、是モマア覺束ナイ話デアラウケレドモ、是ハ銘々ノ
推測デアルカラ果シテ出來ルトモ出來ヌトモ言ヒ兼ルト云フヤウナ御說デ、
本員等ニ於キマシテモ其說ニハ御同意イタシマスルガ、サテ出來タコロデ
今日ノ精製糖ノ輸入稅ガ三圓イクラト云フコトニナッテ居ルヤウデスガ、ア
レハ即チ内地ノ精製糖ヲ保護スル稅ニナッテ居ルヤウデスガ、アレヲ幾ラカ
其時ニナッテ減ズルトカ云フコトニナラヌ以上ハ、迎モ此内地ノ精製糖ヲモ
輸入ノ高イ稅ノ課ッテ居ルニモ拘ラズ廉ク賣ルト云フコトハ到底出來マイト
思フ、シテ見ルト矢張り輸入稅ガ高ク課ル精製糖ト稍同ジヤウナ高イ原料
ヲ用井テ製造シナケレバナラヌ、或ハ少シ廉クナッタコロガ無稅ノ如キ廉
イモノニハナラナイ、シテ見ルト矢張り外國ノ精製糖ト競争スルコトハ出來

スト云フ結果ニナルダラウト思ヒマスガ、其時ニナッたらバ外國精製糖ノ輸入税ヲ御減ジニナル御積リデアリマセウカ、矢張りソレハ其儘ニシテ置ク御積リデアリマセウカ、其邊ヲ一ツ伺ヒタイ

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此砂糖ノ問題ハ實ハ餘程ムツカシイ問題ナンデス、ソレデ政府ノ考ヘテ居リマスルノハ、ドウモ此臺灣ノ砂糖ヲドウシテモ發達セシムルト云フコトハ必要ナコトデアッテ、成ルベク原料糖ナリ精製糖ナリガ日本デ出來ルト云フコトハ先ヅ第一必要ナル問題トシナケレバナラス、此臺灣ノ糖業ノ上ニハソレ相當ノ保護ガ必要ナルデアラウト考ヘマス、併ナガラソレハ如何ナル程度ニ於テ如何ナル方法ニ於テ保護スルカト云フコトハ、何モ決シタコトモ又攷究シタコトモゴザイマセヌガ、今日臺灣總督府ハ相當ナル保護ヲ與ヘテ居ラレルニ相違ナイ、ソレダケデ足ルヤラドウヤラ、果シテ瓜哇カラ來ル原料糖ト臺灣ノ原料糖ト相拮抗スルコトガ出來ルカ、ドウカト云フコトハ、中ミムツカシイ問題デアリマス、ソレ故ニ原料糖ノ税法ニ付キマシテハ衆議院デモ隨分議論ノアッタノハ已ムヲ得スコトト考ヘマス、詰ル所ハ今日ノ有様デハ競争ガ中ミムツカシイ、ソレデ結局ノ解決ハドウシテモ此海關稅ノ協定稅率ト云フモノニ關係イタシマセヌケレバ、結局ノ満足ナル解決ハ付カヌデアラウト考ヘマス、ケレドモ少々クラ非臺灣ノ原料糖ガ高イト云フ位ノコトナラバ相當ナル保護ヲ加ヘたらバ競争ガ出來ル、今臺灣總督ノ考ヘテ居ル所デハ十分ニ生産費ヲ減ジテ行クコトガ出來ヤウ、又產出高モ殖ヤスコトガ出來ヤウト云フ見込ヲ以テヤッテ居ラレル、先ヅ今日ノ如ク原價ニ相違ガアルト中ミムツカシイト云フデアリマシテ、是ハ今度二箇年乃至四箇年、今後數年ノ間ニ於テ政府デ十分ニ原料糖ノ生産費ヲ廉ウスルコトヲ力メ、サウシテノ上デ決定スルヨリ外ニ仕方ガナイト思ヒマス

○村田保君 本員モ唯今皆サンノ御質問ニ付キマシテ考ヘ付キマシタカラ伺ヒタイデスガ、成ルホド大藏大臣ノ御説明ニ依リマスルト、今日日本デ出來ル砂糖ト云フモノハ一億六千萬斤ホドデアアル、併ナガラ消費高ハ四億五千萬カラシテ五億ホドモアル、就イテハ此年限ヲバ四十四年マデニサレルト云フコトハ其間ニ日本ノ原料ノ砂糖ノ生産ガ大概ソレマデニハ大凡ソレダケノ高ガ出來ルデアラウト云フヤウナ、臺灣デ精々骨ヲ折ッテ其間ニハ十分日本デ使フダケノ原料ハ出來ルヤウナ御口氣デゴザイマシタガ、如何デゴザイマ

セウカ、今日ハ成ルホド消費高ガ四億カラ五億クラ非デゴザイマセウケレドモ、段々人口ガ殖エルニ隨ッテ此消費高ハマダ益殖エルダラウト思ヒマス、成ルホド今日ノ所デハ二億萬斤モ日本デ原料ガ出來ナケレバ外國ノ原料ノ輸入ヲ防グコトハ出來スト云フコトデゴザイマスガ、併ナガラ段々サウ云フ風ニ殖エテ行キマシタラ今日ト同ジ運命ニ會ウテ行キハシマイカト思ヒマス、併ナガラ政府ハ此日本ノ内地ノ原料糖ガ十分ニ出來ルマデハ、此戻稅ト云フモノハ、ドコマデモシナケレバナラヌト云フ御考デゴザイマセウカ、サウシテ見マスルト云フト、詰リ内地ノ原料ガ消費高マデ出來ルマデハ此戻稅ヲスルト云フコトニナッたらバ限りノ無イコトダラウト思ヒマスガ、其邊ハドウ云フモノデスカ、一應伺ッテ置キタイ

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 是ハナンデゴザイマス、輸出デゴザイマス、支那ヘノ輸出ト云フコトノ方ニハ私ハドウシテモ日本デ原料ガ不足スルデアラウト考ヘテ居リマス、唯今申シマシタ通り昨年輸出イタシマシタノハ八千萬斤カラ輸出イタシテ居リマスガ、是ハ大變ニ面白イ現象デアラウト考ヘマシテ、將來益砂糖ノ輸出ヲ朝鮮支那ヘ向ッテ爲スコトガ出來ルナラバ日本ニ大變ニ立派ナ輸出品ノ工業ガ出來マス、ソレデ唯今村田君ノ御尋ネノ如ク内地ノ消費モ無論殖エルデアラウ、ソレニ持ッテ行ッテ昨年既ニ八千萬斤出テ居リマスノデゴザイマスカラ、是カラ一層殖エテ來ルコトニナレバ無論原料糖ガ不足イタシマス、不足スル以上ハ外國ニ輸出スル分ニ付イテハ全然戻稅ヲスルト云フコトハ、是ハ或ハ永久ノ法律トナルカモ知レナイ、内地ノ方ノ分ハ或ハ多少ノ外國ノ原料糖ヲ使用イタシマシテモ海關稅ノ方デ十分作用ガ出來ル時代ニナリマスレバ、内地ノ糖業ヲ保護スルト云フコトハ大變ニ容易クナル、一方ニハ即チ海關稅デ防ギ、一方ニハ足ラヌトキガアレバ糖業ニ向ッテ臺灣ナラ臺灣ガ直接ノ保護ヲ與ヘルコトガ出來ルト云フ二ツノ武器ヲ持ッテ居ルコトガ出來ル、此二ツノ武器ヲ持ッタナラバ内地ノ消費ハ成ルタケ内地ノ生産ニ依ラシムルコトガ出來ルヤウニ思ヒマス、ケレドモドウシテモ内地ノ原料トシテ不足シマス場合ニハ其多クノモノハ外國カラ輸入イタサナケレバナラス、此問題ハサウムツカシイ問題デナイト考ヘマス、之ヲ外國ニ輸出スル、即チ昨年八千萬斤ノ輸出ガゴザイマシテ今後漸々輸出スル、又繼續シ得ラルルナラバ其分ニ向ッテハ漸々原料ヲ廉クシテヤルコトヲ考ヘナケレバナラス

ノデア、是ハ或ハ將來永久ノ法律ニナルダラウト考ヘマス
○男爵尾崎三良君 本員等ハドウシマシテモ此協定税率ノ改マラス以上ハ戻
稅ヲ止メテ仕舞フト云フコトハ餘ホド日本ノ貿易上ノ不利益デアラウト思ヒ
マス、假令臺灣ニ精製糖ノ原料糖ガ出來テモ、ドウシテ協定税率ガ改マッテ
外國ノ精製糖ガ今日ノ如キ廉イ稅ヲ買ヘルト云フ間ハ、ドウシテモ戻稅ヲシ
テヤルトカ何トカ他ノ方法ガ無クテハ、今日マデ發達シタ精製糖ノ事業ガ成
立タヌデアラウト思ヒマス、是ハ殆ド議論ニナリマスカラ、唯ソレダケノ意
見ヲ述ベテ置キマス

○千坂高雅君 此所デ大藏大臣ニ質問シタイコトガゴザイマス、一體昨年此
鹽ノ專賣ト云フコトガ出來マシタニ付キマシテハ私等ノ意見デハ却ッテ砂糖
ノ專賣ト云フコトハ好マナイケレドモ、國家問題ニ付イテ仕方ガナイト云フ
トキハ、砂糖ノ專賣ヲ鹽ニ換ヘタイト云フ意見ヲ以テ朋友政友間ニ段々相談
シタコトガゴザイマス、一體此砂糖ノ專賣ト云フコトハ此時局ノ爲ニ已ムヲ
得ヌト信ジテ鹽ト砂糖トヲ換ヘタイト云フ本員ノ如キハ意見ヲ持ッテ居リマ
ス、ソレ故ニ此問題外ダカラ答ヘヌト仰シヤルナラバ別デアリマスガ、砂糖
ト鹽トノ關係上、一通リ考ヘテ下サレバ、砂糖ハ贅澤物、隨分僕等ノ若イ時
ハ……一體通觀シテ見マスレバ砂糖ト云フモノハ非常ニ發達シテ各地方餘計
ニナツタト考ヘマス、ソレニ依ッテ先刻村田君ヨリノ質問モゴザイマシタ如
ク、今日ハ輸入シテ來ル砂糖ハ何億トカ云フヤウナ御計算ニナツテ居リマス
ガ、北海道ヨリ出來ル砂糖ヨリナンボ造ッテ……追々贅澤ニナツテ來レバ此砂
糖ノ消費ハ日増シニ餘計ニナルト私ハ考ヘル、是ハ必ズ大藏大臣ニ於テ四五
年前ノ砂糖ノ消費ト今日ニナツテノ砂糖ノ消費ノ御計算モゴザイマセウシ、
竝ニ此砂糖ト云フモノハ今日ハドウシテモ制裁ガ無ケレバ、此消費ハ日増シ
月増シニ餘計ニナツテ來ルカラ、之ヲ一ツ勘定ニ入レルコトハ出來ルヤドウ
カト云フコトヲ伺ヒタイ、出來ナイナラ出來ナイト云フコトヲ伺ッテ置キタ
イノデアリマス、且又今一箇條ハ若シ此消費ガ今日ニ止マルト云フコトナラ
バ臺灣ノ今日ノ砂糖ノ出高ト云フモノハ先キホド大藏大臣ハ段々ニ產出等ノ
御演說ガゴザイマシタガ、此臺灣ノ砂糖ヲ衆議院デハ二箇年ト致シマシタガ、
此二箇年ノ中ニドノ位ナ產出ガ出ルカ、果シテ他日ハ臺灣ノ方デ日本ノ需要
ヲ充タスカ否ヤ、其ニツワ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 御答イタシマス、專賣ト云フコトニ付キマシテハ、
政府デハ成ルベク此專賣ト云フコトハ殖ヤシタクナイ考ヲ有ッテ居リマシテ、
成ルベク人民ノ自由營業ニ委ネテ置クト云フコトガ至當デアラウト考ヘマ
ス、唯刻下已ムヲ得ズ、煙草トカ鹽トカ云フモノハ專賣ト致シマシタケレド
モ、出來マス限リハ此以上ニ專賣ハ殖ヤシタクナイ考デアリマス、又段々取
調ベテ見マスルト砂糖ヲ專賣ニスルナラバ餘ホド費用ガ掛リマス、其砂糖業
ヲ政府ガ買上ゲルニ付イテハ餘ホド費用ガ掛ル、サウスレバ消費稅ヲ掛ケル
ノト專賣ニスルノトノ利益ノ差ト云フモノハ今日ノ所デハ餘リ大キクナイ、
一方ニ人民ノ營業ヲ妨ゲテ、サウシテ一方ニ得ル所ハ格別ナイト云フヤウモ
ノデアリマス、今後砂糖ヘ重大ナ稅ヲ課ケヌナラヌト云フ狀態ニナリマシタ
ナラバ、ソレハイザ知リマセヌケレドモ、現行ノ程度ノ稅デアリマスレバ、
ソレヲ專賣ニシテ種々面倒ヲ與ヘ、又買收スルニ巨額ノ金額ヲ拂ッタ其損失
ト、專賣ニ依ッテ得タ收益ノ差ト云フモノハ、ドウモソレダケノ犧牲ヲスル
程ニハ考ヘラレマセヌ、併ナガラ財政ノコトト言ヒ世ノ中ノ變化デドンナ非
常ナ出來事トカ、ドンナ事情カラ澤山砂糖ニ稅ヲ多ク課ケルト云フ必要アル
ト云フ場合ニ、或ル程度以上ノ重稅ニナルト專賣デナクテハ行ハレナクナル、
ソレ故ニ現在ニ於キマシテ政府ハ之ヲ專賣トスル考ヲ持ッテ居リマセヌ、ソ
レカラ臺灣ノ生産高ハ色々調査ガゴザイマスルガ、先ヅ今後二箇年間ニ二億
萬斤クラ非ハ殖エラウト云フ勘定ニナツテ居リマス、併ナガラ臺灣ノ灌
漑ガ方々ヘ擴ガリマスルト又其外、面積ガ大分アルト云フコトデアリマス

○田中芳男君 私モチヨット質問イタシタイト考ヘマス、唯今砂糖ト云フモ
ノハ臺灣ニ專ラ出來ルコトニナツテ居ルガ、是ハ氣候ト土質ニ合ヒマス所
カラ臺灣ヲ專ラ獎勵ナスッテ砂糖ガ出來ルヤウニナツタモノデアラウト思ヒマ
ルガ、抑、砂糖ト云フモノヲ世界デ需要シテ居リマスコトハ必シモ今臺灣デ
出來タ甘蔗糖バカリデハナイ、亞米利加ニ於テ「モミデ」カラ砂糖ガ出來ル、以
前ハ日本ヘモ大分輸入シテ居リマシタガ、唯今ハ稅ノ都合デサウ這入ッテ來
マセヌ、又歐羅巴ニ於テハ甘蔗ハ出來ヌ故ニ甜菜「シュガービート」ト云フモノ
ヲ作ッテ、ソレカラ砂糖ヲ拵ヘテ居ル、是モ以前ハ大分日本ヘ這入ッタヤウニ覺
エマス、ソレユエ從前臺灣ノ無イ頃ニハ北海道ノ土地ガ殊ニ適スルデアラウ
ト云フコトカラ政府モ獎勵シテ甜菜デ砂糖ヲ製造スルコトヲ努メラレ、又民
間ニ於テモ大ナル會社ヲ起シ砂糖ノ大會社ガ出來タヤウニ考ヘマスルガ、其

二ツノ會社ナドハ現場如何ニナツテ居ルヤ否ヤ、甜菜ノ砂糖ノ如キモノハ北海道ニ於テ見込ガ無イカラ政府ハ勿論アレハ獎勵シナイト云フコトニナツテ居リマスヤラ、ココハ如何ナ思召ニナツテ居リマセヤラト云フコトヲ、大藏大臣ヨリカ或ハ農商務大臣ノ方ガ能ク御存ジカモ知リマセヌガ、如何ナ景況ニナツテ居リマスカ、承ツテ置キタイト思ヒマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 「モミデ」カラ取りマス砂糖ニ付キマシテハ北海道ニ同種類ノ「モミデ」ガアリマスカラ、是ハ段々試験ヲ致サセマス考デ居リマス、ソレカラ甜菜カラ取りマシタモノハ矢張り古ク政府ガ保護イタシマシタノデアリマスルガ、補助年限ガ切レマストトモニ段々事業ガ振ヒマセヌデ、今ハモウ殆ド廢メマシタ、併ナガラ甜菜ト云フモノガ果シテ惡ルイトモマダ考ヘテ居ラス、即チ此北海道デ植付ケマシタ事業デモ今日殘リマシタノガ開拓使時代ニ植エテ殘ッタノガ「ビール」ト製麻會社ノ事業ト云フモノガ殘リマシタ、或ハ耕作人ト會社トノ關係ノ宜シカラヌ所ガアッタリ、事業ノ經營宜シカラヌ所ガアツテ失敗シタト云フ點モアルヤウニ考ヘマスガ、甜菜ガ全ク惡イ爲ニ潰レタトハ斷言ガ出來ヌト思ヒマス、是ハ一ツ研究スベキ餘地ガアルト考ヘマス、併ナガラ其事業ト云フモノハ失敗ニ終リマシタノデ、其工場ハ今デハ札幌ノ製糖會社ノ工場ハ「ビール」會社ノ工場ニ變ジテ居ルト云フヤウナ憐レナ有様ニナツテ居リマス、併ナガラ其失敗イタシマシタ原因ニ付イテハ甜菜ヲ作ッタ百姓トソレヲ原料トシテ使フ會社トノ關係ガマダ未熟デアッタ點モアルヤウニ聞及ンデ居リマス、其コトハ獨リ甜菜ノ場合ノミデゴザイマセヌ、「ビール」會社ノ如キモ麥ヲ作ル方法ト麥ノ買入方法トノ關係ニ於テ初メドウシテモ成功シナカッタ、ソレ故ニ現在ノ御尋ネニ對シテ甜菜ノ事業ハ日本デ失敗ヲ致シマシタ、併ナガラ其コトガ全然將來失敗ニ終ルト云フコトハ斷言シ能ヒマセヌ

○田中芳男君 モ一ツ、唯今ハ札幌製糖會社ダケノ御答デゴザイマシタガ、室蘭ニモマダアツタト思ヒマスガ、是モ失敗イタシマシタカ、如何ナモノデゴザイマセウ

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 御尋ネノ室蘭ト云フノハ紋別デスナ、是モ失敗イタシマシタ、是ハ伊達某ト云フ人ガ大變移民ヲセラレテ景氣ガ宜カッタガ、

トウ、是モ失敗イタシマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十三ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵曾我祐準君 本案ハ段々質問モ澤山ゴザイマシタ案デ、十分重大ノヤウデアリマスルカラ、此委員ハ十五名ニ相成リタイ希望デアリマス、而シテ其選定ハ議長ニ御任セ申シタイト思ヒマス

〔贊成「ト呼ブ者多シ」〕

○男爵尾崎三良君 本員モ其説ヲ述ベヤウト思ヒマシタガ、幸ニ曾我君カラ提出イタサレマシタカラ贊成ヲ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ特別委員ノ數ヲ十五名、其委員ハ議長ノ指名、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十四、鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

鐵道敷設法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年二月二十一日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條第一項中山陽線ノ部第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 岡山縣下岡山ヨリ宇野ニ至ル鐵道

第七條第一項第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 羽越及岩越豫定線ノ内新潟縣下新津ヨリ福島縣下若松ヲ經テ白河本

宮近傍ニ至ル鐵道中新潟縣下新津ヨリ福島縣下喜多方ニ至ル鐵道

同項第七號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 山陽豫定線ノ内岡山縣下岡山ヨリ宇野ニ至ル鐵道

〔國務大臣山縣伊三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山縣伊三郎君) 此鐵道敷設法中ノ改正ハ、昨午國有鐵道法ニ據ッテ私設鐵道ヲ買収シマシタル結果、之ヲ要スル次第デアリマス、即チ山陽線ニアツテハ宇野、岡山、ソレカラ岩越線ニアツテハ喜多方、新津、此二線ヲ買収ノ結果、第一期線ニ追加スルコトノ必要ヲ生ジタノデアリマス、已ムヲ得ナイコトデアリマスルカラドウゾ御贊同アラムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 次ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第十五、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此特別委員ハ議長ガ選定イタシテ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十六、韓國森林特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

韓國森林特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年二月二十三日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

韓國森林特別會計法

第一條 鴨綠江及豆滿江沿岸森林ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ事業上ノ收入ヲ以テ其ノ支出ニ充テシム

第二條 韓國森林特別會計ノ資本額ハ百二十萬圓トシ其ノ半額ハ韓國政府ノ分擔金ヲ以テ之ニ充ツ

前項資本金ハ必要ニ應シ漸次一般會計ヨリ繰入シ又ハ韓國政府ヨリ受入シム但シ事業用物件ヲ以テ出資額ニ充ツルコトヲ得

第三條 毎年度事業上ノ損益ハ前條出資額ニ應シ之ヲ一般會計及韓國政府ニ分配ス

第四條 政府ハ毎年韓國森林特別會計歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總

豫算ト俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第五條 毎年度ノ豫算ニハ災害事變其ノ他豫期セサル歲出ノ不足ニ應スル爲豫備費ヲ設クヘシ

第六條 本會計ノ事業ハ事宜ニ依リ森林經營ヲ目的トスル會社ニ委託シテ之ヲ經營スルコトヲ得

第七條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法律案ハ御承知ノ如クニ、韓國ト帝國トノ間ニ鴨綠江其他豆滿江等ノ地方ノ森林ヲ、日韓協同シテ經營スルト云フ約束ガ成立ッテ居リマス、ソレニ付キマシテ韓國カラモ資金ヲ出シ、帝國カラモ資金ヲ出スノデアリマシテ、之ヲ特別會計ニ致シマシテ經營イタスト云フ趣意ナノデアリマス、是ハ極メテ簡單ナモノナノデアリマス、御協贊ヲ願ヒ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イヤウデアリマスカラ、次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十七、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ノ選定ハ議長ガ致シテ御異存アリマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十八、樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十八、樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕
樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年二月二十二日

右特別委員長

子爵本莊 壽巨

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵本莊壽巨君演壇ニ登ル〕

○子爵本莊壽巨君 樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案、此特別委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、本案ハ委員會ニ於キマシテ多少ノ質問ハ出マシタケレドモ、全會一致ヲ以チマシテ可決イタシマシタ譯デアリマス、其可決イタシマシタ理由ハ樺太ガ日本ノ領地トナリマシテヨリ軍政ノ支配ヲ受ケテ居リマス故ニ、民刑事ノ裁判ノ如キハ民政法院ト民事軍法會議ト軍事法院トノ此三箇所デ裁判ヲ取扱ッテ參リマシタ、而シテ此民事裁判ノ如キハ内地ニ於キマシテ從前取扱ッテ參リマシタ所ノ勸解ノ法ヲ以チマシテ成ルベク和解ヲ致サセマシテ萬一不調ノ時分ニハ裁判ヲ致ス、其裁判ハ即チ終審ノ裁判トナリマシテ上告ノ途モ無イト云フ譯デゴザイマス、又刑事ニ於キマシテモ其裁判言渡ハ之ヲ確定裁判ト致シマシテ上訴ノ途モ無イ、斯ウ云フ譯ニナッテ居リマス、サウスレバ同ジ帝國ノ人民ニシテ隨分不幸ナル譯柄デゴザイマス、故ニ今回ハ樺太地方ニ普通ノ地方裁判所ヲ設ケテ初審ノ裁判ダケハ扱フ、斯ウ云フコトニ致ス譯デゴザイマス、又普通ノ裁判所ヲ置キマスレバ之ニ伴フ所ノ二區裁判所ヲ差向キ設置スルト云フ譯デゴザイマス、デ此二區裁判所ノ距離ニ於キマシテハ二十里餘ゴザイマシテ之ヲ陸路ニ致シマスレバ非常ナル嶮惡ナル場所デ以テ、隨分交通ガ不便ナ所デゴザイマス、又海路ヨリ致シマスレバ隨分迂回ニナリマシテ、非常ニ路モ遠キノミナラズ、冬期ノ如キハ結氷ヲ致シマシテ交通ガ出來ナイト云フヤウナ場所柄デゴザイマスカラ、ドウシテモ此二ツノ區裁判所ヲ設ケルト云フ必要ガゴザイマス、デ右ノ次第デゴザイマスカラ、委員會ニ於キマシテ滿場一致ヲ以テ贊成ヲ致シマシタ譯デゴザイマスカラ、此段ヲ御報告イタシマス、又此法案ハ簡單ナ法案デゴザイマスカラ、讀會ヲ省略イタシマシテ、直ニ確定議ト爲スト云フ勸議ヲモ併セテ提出イタシマスカラ、ドウカ御贊成ヲ得マシテ速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

〔菊池武夫君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 菊池君ニ伺ヒマスガ、菊池君ノハ修正說デアリマスカ、大體ノ……

○菊池武夫君 反對デス、否決シヤウト云フノデス

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

〔菊池武夫君演壇ニ登ル〕

○菊池武夫君 此法律案ニ依リマスルト新ニ帝國ノ版圖ニ屬シマシタル所ノ邊陲ノ地ニ於テモ尙ホ司法ノ機關ヲ備ヘヤウト云フノデアリマスカラシテ、其名ハ正シク、其體裁ハ甚ダ美ナルモノデアリマス、反對スベキ理由ハ無イカノヤウニ思ハレマスケレドモ、併ナガラ是ガ法律トナッテ實施セラルル其實況ヲ考ヘマスルト、大ニ又反對スベキ理由ガアルト信ジマスルノデアリマス、故ニ諸君ノ御參考マデニ私ノ意見ヲ申述ベヤウト思ヒマス、是マデ此樺太地方ニ於キマシテ、ドレダケ今度ノ裁判ニ於テ取扱フベキ事件ガアッタモノデアリマスカ、私ハ存ジマセヌナレドモ、兎ニ角、專門ノ機關ヲ置キマシテ取捌カネバナラヌト云フ多數ノ事件ノアルト云フコトハ未ダ曾テ聞カヌノデアリマス、サウシテ又此裁判所ガ置カレマシタ曉ニ如何ナル種類ノ職員ガソコニ赴任スルノデアリマセウカ、今日敏腕ノ聞エアル人タチガ果シテココニ赴任イタスデアリマセウカ、從來トモ那覇ノ裁判所デアリマスとか或ハ根室ノ裁判所デアリマスとか申ス所ハ、地方裁判所デアリマシテモ、敏腕家ガ赴任ヲ致シタ……在任ヲ致シタト云フコトハ餘リ聞カヌノデアリマス、偶何カノ都合デ在任イタシマシテモ忽チ又他ヘ轉任ヲスルト云フ事例ハ存シテ居リマス、然ルニ此地方ニ限ッテ從來ノ例トハ變ッテ至極ノ敏腕家ガ在任スルデアラウト云フコトハ私ニハ信ジラレマセヌ、多分ハ休職ニデモ成リカカッタ人ノ中デ樺太アタリナラ宜カラウト云フノデ、在任ヲ命ゼラルルノガ實況デアラウカト思ヒマス、若シ果シテ斯ノ如シトスレバ此法案ノ値打ト云フモノハ誠ニ詰ラヌモノデハアルマイカト思フ、一體樺太ハ申スマデモナク、内地ノ裁判所ニ於キマシテモ事件ノ繁多ナルニ苦ムヨリハ、寧ロ閑散ナルニ苦ンデ居ル場所ガ少クナイノデアアル、私ハ曾テ或ル島ノ或ル裁判所ニ在勤シタ人ノ話ヲ聞キマシタ、如何ニモ事件ガ少イ、サウカト申シテ交際スベキ人ハ無シ、娛樂ノ設備ハ無シ、唯幸ナルコトニハ魚ガ澤山居ルノデ釣デ以テ漸ク日ヲ暮シテ居ルト云フ話デアリマス、固ヨリ一場ノ座談デアリマスルカラ、之ヲ正確ニ證據ニ私ハ引クノデアリマセヌガ、又以テ或裁判所ノ情況ヲ窺フニ足ルダラウト思ヒマス、サウ云フ場所ニ職員ヲ配置イタシマスルノハ、ドウモ人ヲ用弗ルト云フヨリモ私ハ寧ロ人ヲ害フニ近イモノデアラウト思フ、而シテ此法案ハ又唯今申ス如キ裁判所ヲ三ツホド殖ヤサウト云フノデアリマス、元來斯ノ如キ地方ハ裁判所ノ如キ融通ノ利カヌ機關ヲ据エマスルヨリハ比

較的伸縮自在ナル行政官ノ手ニ事務ヲ委ネテ置ク方ガ土地ノ發達上カラ申シマシテモ却テ便利デアラウカト思ハレル、即チ政略上カラ取ツテハ斯ノ如キ法案ハ宜シクアルマイカト思ヒマスルガ、併シ此政略上ノ話ハ諸君ハ能ク御存ジデアリマセウガ、私ハ能ク存ジマセウガ、唯私ハ裁判所ノ内容カラ觀察ヲ下シマシテ、本案ノ贊成スベカラザルコトヲ信ズルノデアリマス、又公ケノ職務ニ就イテ居リマスル者ノ中デシホシタ者ノ一番多イモノハ何デアルカト申シマスルト、小學校ノ教員ダラウト私ハ思フ、其次ハト云ッタル私ハ裁判所ノ職員ダラウト思フ、給料ハ少シ、交際ハ狹シ、在勤所ハ多クハ片田舎デアル、而シテ其職責ト云ヘバ甚ダ重大ナルモノデアアル、元氣ノ揚ラムト欲シテモ得ナイ次第ナノデアリマス、斯ノ如キ裁判所ノ有様デアリマスレバ自ラ刑法ヲ改正シヤウガ、其他ノ法律ヲ改メマセウガ、其功ハ半バ空シカラムコトヲ私ハ恐レルノデアリマス、ドウカシテ彼等裁判所ノ職員ヲ活用スルヤウニ致シ、彼等ノ職務ヲ活潑ナラシムルヤウニ致シ、裁判所一體ニ活氣ヲ生ゼシメタイト私ハ考ヘルノデアアル、左様ノ種類ノ法案デアリマスレバ多少考ノ異ナル所ガアリマシテモ敢テ贊成ヲ致スニ吝カナラヌ積リデアリマスルガ、是ハ唯名義ノミノ案デアリマス、體裁ノミノ案デアリマス、故ニ私ハドウシテモ贊成スルコトガ出來ナイ、諸君ニ於カレマシテモ暫ク眼ヲ御閉デニナツテ此法案ノ實行セラルル其實況如何ト云フコトヲ顧ミラレタナラバ蓋シ御贊成ハアルマイカト私ハ信ジマス、依ッテドウカ本案ハ否決ニナラムコトヲ私ハ希望イタシマス

〔國務大臣松田正久君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(松田正久君) 唯今菊池君ハ本案否決ノ御説ヲ滔々ト述ベラレタノデアリスマ、故ニ已ムヲ得ズ一言ヲ致サネバナラヌ次第ニナリマシタ、本案ニ對シテ特別委員長ノ報告モアツテ見マスレバ決シテ御反對ノ御方ハアルマイト思ヒマシタガ、奇怪ナルカナ、菊池君ハ大反對ヲ表セラレタノデアリマス、是ハ元來誤解ヨリシテ否決ノ御説ヲ出サレタカト思フ、其誤解ト云フコトヲ申セバ、否決ノ理由トシテ此裁判所ヲ置イテ見タ所ガ誠ニ是ハ表面體裁ニ止マツタルモノデアアル、其實ヲ探ツテ見レバ裁判所デアアルヤ無イヤラ一向譯ノ分ラヌヤウナモノヲ置クニ違ヒナイ、即チ休職シサウナ者デモ持ッテ行クト云フコトヲ述ベラレマシタガ、全ク是ハ誤解ヨリシテ生ジテ居ルノデアリマス、當局ノ考デハ曩ニ特別委員長ヨリ報告ノ中ニモアリマシタ如ク、

樺太ハ我新領土トナリ、而シテ内地トハ交通最モ不便ナル所デアアル、且又目下外國人モ居ルノデアアル、折角我新領土ニシテ而シテ之ニ移住スル人ノ身命財產ヲ如何ナサル御積リデアアルカ、凡ソ人ト云フモノハ身命財產ヲ安固ニ保護イタサナケレバ連モ安心イタシテ其土地ニ棲息スルコトガ出來ヌトセヌケレバナラス、菊池君ハ其職分ハ人民ノ權利、身命ヲモ保護スルノ御職分ヲ持ッテ居ラレル辯護士デアリナガラ、斯ノ如キ説ヲ吐カルト云フコトハ或ハ何カ爲ニスル所ガアルカト私ハ考ヘルノデアアル、當局デ茲ニ裁判所ヲ設クル爲ニ勿論遠隔ノ土地デゴザイマスルシ、殊ニ氣候ニ於テハ甚ダ不適順ナ所ト思フ、故ニ成ルベク良イ裁判官ヲヤリタイト思フ所カラ、此裁判所ノ組織ノ點ニ就イテハ最モ深ク注意ヲ加ヘタノデアリマス、追加豫算案ニ就イテ御覽ナサレタナラバ一目瞭然デアラウト思フ、ソレデモ尙ホ當局デハ完全ナリトハ信ゼヌノデアアル、然レドモ目下財政ノ都合モ考ヘナケレバナリマセヌカラ、先ヅ暫クノ所ハ斯ノ如ク組織ヲ致シタナラバ大概ノ技倆アル人ハ登庸スルコトガ出來ルノデアアルト云フ考ヲ以テ組織ヲ致ス積リニシテ居リマスル、又菊池君ハ樺太ノ裁判事務ハ行政官ニ委任シテ宜カラウト云フ御説ノヤウニナル、是ハ如何ニモ今日此二十世紀ノ時代ニ於テ行政官ト裁判官ト混合スルヤウナ御説ト云フモノハ誠ニ私ハ奇怪千萬ナリト考ヘマスル、成ルベク人ノ身命財產ヲ安固ニスルト云フコトハ菊池君コソ御主張ナサヌケレバナラヌト思フノニ、如何ニモ菊池君ニシテ行政ト裁判ノ事務ヲ混合イタスト云フ御説ニ至ッテハ誠ニ了解イタシ兼ネルト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ私ガ駁撃ヲ致スノ必要ハアルマイト思ヒマシタケレドモ、餘リ了解イタシ難イ御説デアリマシタカラ已ムヲ得ズ茲ニ一言イタシタノデアリマス、ドウカ諸君ノ速ニ御贊成ヲ希望イタシマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵本莊壽巨君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

○名村泰藏君 本員モ矢張り第二讀會ヲ御開キニナルヤウニ願ヒマス

○伯爵柳原義光君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 本莊子爵ノ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ說ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 全部御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○子爵本莊壽巨君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵野村素介君 贊成

〔其他〕贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十九、樺太廳特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

樺太廳特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年二月二十三日

右特別委員長

谷森 眞男

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔谷森眞男君演壇ニ登ル〕

○谷森眞男君 本案ノ特別委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、本案ハ去ル二十三日ニ特別委員會ヲ開キマシテ審査ヲ致シマシテゴザイマス、樺太廳ヲ、軍政ヲ撤去イタシテ追ミ内務省ノ所管ニ移スコトニナリマスニ付キマシテ、同島ノ經費ハ成ルベク同島ノ歳入ヲ以テ充テルト云フノ方針ヲ執ッテ出來マシタコトデ、即チ樺太島ノ經理上ニ必要ノコトデアルト云フノ理由ヲ以テ此案ハ提出セラレタノデアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ審議ノ上、今日ノトコロ特別會計ノ澤山ニ出マスコトハ甚ダ好マシウナイコトデアリマス

ガ、併シ此樺太廳ナドニ於キマシテハ已ムヲ得ザルモノト認メマシテ、委員ハ全會一致ヲ以テ可決スベキモノデアルト云フコトニ決シマシタ次第デアリマス、而シテ此第一條ニゴザイマス歳入ト云フノハ即チ七十六萬四千圓デゴザイマス、ソレニ一般會計補充金ト云フノガ六十二萬九千四百六圓ト云フコトデゴザイマス、チヨット是ダケハ序デニ申上ゲテ置キマス、尙ホ此案ハ簡單デモゴザイマスカラ、讀會ヲ省略セラレテ議決ニナラムコトヲ希望イタシマス

○子爵曾我祐準君 贊成

○伯爵廣澤金次郎君 贊成

○男爵金子有卿君 贊成

○男爵南岩倉具威君 贊成

○伯爵柳原義光君 贊成

〔其他〕贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 谷森君ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成者ガアタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十年二月二十三日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中岡山地方裁判所管内玉島區裁判所管轄備中國吉備郡水内村及下倉村ヲ同地方裁判所管内高梁區裁判所ノ管轄ニ變更ス

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前玉島區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ同區裁判所之ヲ裁判ス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質問ガ無イノデアリマスカラ、次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二十一、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此特別委員ノ選定ハ議長ガ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十二、戶籍法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

戶籍法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年二月二十三日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

戶籍法中左ノ通改正ス

第二百條ニ左ノ一項ヲ加フ

戶主カ前二條ノ期間内ニ其届出ヲ爲ササルトキハ許可ノ裁判ヲ受ケタル

者ヨリ其届出ヲ爲スコトヲ得

○議長(公爵徳川家達君) 御質問モ無イヤウデアリマスカラ、次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十三、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、特別委員ノ選定ハ議長ガ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十四、市街宅地地價修正ニ關スル請願、會議

「左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ」

意見書案

市街宅地地價修正ニ關スル件

山形縣西田川郡鶴岡町士族農林茂政外六百五十六名呈出

右ノ請願ハ當山形縣西田川郡鶴岡町ノ法定宅地地價ハ高キニ失シ繁榮ノ程度當町ニ比シテ數等ノ上ニ在ル米澤秋田青森弘前等ノ近接各市ニ比較スルモ尙其ノ當ヲ得サルヲ以テ適當ノ修正ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○議長(公爵徳川家達君) 請願委員長ノ報告通り採擇シテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、議事日程第二十五ヨリ第二十八マデノ請願ヲ一括シテ議題トシテ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

意見書案

國有林拂下ノ件

東京市本所區中ノ郷元町平民比親學校長土屋宗德呈出

右ノ請願ハ曩ニ小學校令ノ公布ニ據リ市町村立尋常小學校ハ其授業料ヲ徵收セサルコトト爲リ居ルモ同令中例外規定アルカ爲ニ實際上其ノ本文ハ空文ニ歸セルノ情態ナルヲ以テ此ノ際官林ヲ拂下ケ之ヲ以テ全國無月謝教育資金ニ充テラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

山林税ニ關スル件

神戸商業會議所會頭岸本豊太郎呈出

右ノ請願ハ我國山林ノ收益頗ル多キニ拘ラス租税ノ負擔輕微ニシテ尙擔税ノ餘地アルヲ以テ山林税ノ制度ヲ設ケ他ノ不當ナル各種ノ租税ニ代ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

口羽郵便局ニ電線架設ノ件

島根縣石見國邑智郡口羽村平民商天野六市外十六名呈出

右ノ請願ハ當島根縣邑智郡口羽村ハ石見國東部ノ名邑ニシテ近時第二種ニ屬スル車道ハ廣島縣三次郡及廣島市ニ通シ或ハ邑智郡濱原粕淵ヲ經テ那賀郡濱田町ニ到ルノ要路ニ當レリ爲ニ物貨ノ集散及海陸ノ商業區域擴張シテ

取引益頻繁ヲ來シ電信ニ據リテ用務ヲ辨スルモノ日多キヲ加ヘタルヲ以テ口羽村郵便局ニ電線ヲ架設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

大阪築港設備ニ關スル件

大阪商業會議所會頭土井通夫呈出

右ノ請願ハ大阪築港ハ實ニ帝國ノ一大築港ニシテ其ノ竣成ノ上ハ東西兩洋ノ貿易燒點トシテ優ニ絶東ノ一大商港タルヘキモノ爲ルヲ以テ之カ陸上設備ヲ有利完全ナラシムル爲國家事業トシテ速ニ臨港鐵道ノ敷設安治川ノ浚渫及大阪税關ノ擴張ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○田中芳男君 是ハ請願委員長ノ御報告通り贊成シマスガ、若シ政府委員デモ居ラレタラバ本員ハ一言政府委員ニ御尋ネシタイト考ヘマスケレドモ、之ニ對スル政府委員ハ御出ナサラズ、委員長ニ質問シテモ何ノ益モ無イコトト考ヘマスカラ、聊カ希望ヲ述ベテ置キタイ

○議長(公爵德川家達君) 何ノ請願デスカ

○田中芳男君 二十五ノ請願デス

○議長(公爵德川家達君) 宜ウゴザイマス

○田中芳男君 此國有林ヲ小學校基本金ニ下付スルト云フコトハ最モ其學校ノ爲ニ宜シイコトト考ヘマスガ、之ヲ唯單ニ下付シタバカリデ條件ヲ付ケテ置カヌ以上ト云フモノハ、ソレヲ貫タモノガ自分勝手ニ處理シテ仕舞フト云フ嫌ガゴザイマス、必ズ之ヲ渡ス以上ハ是非トモ林業ノ整理上ノ事柄ヲ十分ニヤッテ長ク基本財産積立テノコトヲヤラネバ折角渡シタ功能ガ無イ、功

能ガアルヤウニスルニハ政府デソレダケノコトヲ御取扱クダサラヌ以上ハ折角下付シテモ何ノ役ニモ立タナイカラ、若シ此案ヲ御採用ニナッテ政府ガ學校ヘ配付サレル曉ニハ必ズ此森林ヲ經營スルダケノコトハ十分ニ御注意アラムコトヲ希望イタシマスルノデ、此コトダケ一言希望ヲ述ベテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二十五ヨリ第二十八マデノ請願ハ請願委員長報告通り採擇シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス、是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、曩ニ御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔宮田書記官朗讀〕

煙草專賣法中改正法律案特別委員

侯爵徳川 頼倫君 子爵稻垣 太祥君 子爵青木 信光君

男爵北大路 實信君 男爵中島 久万吉君 森 山 茂君

目賀田種太郎君 村岡淺右衛門君 長尾四郎右衛門君

保税倉庫法中改正法律案特別委員

子爵唐橋 在正君 子爵松平 乘承君 子爵前田 利定君

男爵小野 尊光君 男爵河邊 博長君 安廣伴一郎君

高橋 新吉君 加藤 正惠君 廣海二三郎君

癩豫防ニ關スル法律案特別委員

伯爵廣澤 金次郎君 子爵梅小路 定行君 男爵高木 兼寛君

男爵石黒 忠恵君 男爵南岩倉 具成君 男爵平野 長祥君

男爵眞田 幸世君 三宅 秀君 木村 誓太郎君

輸入原料砂糖戻税法中改正法律案特別委員

子爵谷 干 城君 子爵鍋島 直彬君 子爵加納 久宜君

子爵岡部 長職君 小牧 昌業君 男爵茨木 惟昭君

男爵平田 東助君 山川 健次郎君 男爵吉川 重吉君

男爵小原 適君 西村 亮吉君 南郷 茂光君

山本 達雄君 鎌田 榮吉君 日高榮三郎君

鐵道敷設法中改正法律案特別委員

公爵二條 基弘君 子爵井上 勝君 子爵一柳 末徳君

子爵永井 尙敏君 男爵千田 貞曉君 關 義 臣君

男爵佐野 延勝君 土居 通博君 伊藤 長次郎君

韓國森林特別會計法案特別委員

伯爵正親町 實正君 子爵牧野 忠篤君 男爵尾崎 三良君

男爵淺野 守夫君 男爵本多 政以君 中島 永元君

柴田 家門君 村井 彌兵衛君 加藤 宇兵衛君

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案特別委員

侯爵池田 詮政君 子爵大田原 一清君 子爵入江 爲守君

男爵西五辻 文仲君 男爵紀 俊秀君 何 禮 之君

奥山 政敬君 野崎 啓造君 本間 千代吉君

戶籍法中改正法律案特別委員

侯爵細川 護成君 子爵堀河 護麿君 子爵松平 親信君

名村 泰藏君 古澤 滋君 男爵藤大路 親春君

男爵若王子 文健君 富井 政章君 桑田 熊藏君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日は是デ散會ヲ致シマス

午後零時五分散會